



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東名

上場会社名 ユタカフーズ株式会社
コード番号 2806 URL <http://www.yutakafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 淳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 牧 清忠
四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日

TEL 0569-72-1231
平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	9,999	△3.1	551	△16.0	603	△15.0	426	△9.6
28年3月期第2四半期	10,316	0.8	656	49.4	709	49.7	472	52.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	61.42	—
28年3月期第2四半期	67.94	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
29年3月期第2四半期	20,531		17,752		86.5	2,554.80
28年3月期	20,455		17,463		85.4	2,513.18

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 17,752百万円 28年3月期 17,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	2.1	1,350	1.7	1,450	2.1	950	0.8	136.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	8,832,311 株	28年3月期	8,832,311 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	1,883,542 株	28年3月期	1,883,517 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	6,948,783 株	28年3月期2Q	6,948,962 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が緩やかに続きましたが、円高の進行や新興国経済の減速懸念、さらに、欧州におけるブレグジット問題が今後の世界経済に与える影響への不安心理の増大など、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第2四半期累計期間の売上高は9,999百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は551百万円（前年同期比16.0%減）、経常利益は603百万円（前年同期比15.0%減）、四半期純利益は426百万円（前年同期比9.6%減）となりました。

セグメント別では、液体調味食品部門は、業務用調味液の売上が増加し、売上高は1,915百万円（前年同期比2.1%増）と伸びましたが、セグメント利益は179百万円（前年同期比23.0%減）となりました。

粉粒体食品部門は、顆粒製品の受託が伸び悩み、売上高は2,234百万円（前年同期比4.4%減）、セグメント利益は41百万円（前年同期比53.7%減）となりました。

チルド食品部門は、焼そば、生ラーメンの受託が好調でしたが、ゆで麺のアイテムが低調に推移し、売上高は1,709百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益は187百万円（前年同期比21.7%増）となりました。

即席麺部門は、受託が低調に推移し、売上高は3,377百万円（前年同期比5.0%減）、セグメント利益は129百万円（前年同期比21.1%減）となりました。

その他は、水産物の取扱いの減少に伴い、売上高は762百万円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益は13百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

第2四半期会計期間末における資産の部は20,531百万円となり、前事業年度末と比べ75百万円増加しました。これは主に、流動資産において関係会社短期貸付金が2,000百万円増加し、現金及び預金が1,745百万円減少したことによるものであります。

負債の部は2,778百万円となり、前事業年度末と比べ213百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が121百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は17,752百万円となり、前事業年度末と比べ289百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が287百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は5,856百万円となり、前年同期と比べ1,230百万円（17.4%）の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は549百万円となり、前年同期と比べ113百万円（17.1%）の減少となりました。主な要因は、税引前四半期純利益597百万円、減価償却費271百万円による資金の増加と仕入債務の減少45百万円及び法人税等の支払額312百万円による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は2,195百万円となり、前年同期と比べ2,012百万円（1,098.1%）の増加となりました。なお、投資活動による主な支出は、貸付けによる支出2,000百万円、有形固定資産の取得による支出158百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は138百万円となり、前年同期と比べ0百万円（0.0%）の支出増となりました。なお、財務活動による主な支出は、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ0百万円増加しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,925	6,180
売掛金	2,050	1,972
商品及び製品	389	392
仕掛品	25	15
原材料及び貯蔵品	232	262
関係会社短期貸付金	3,500	5,500
その他	129	126
貸倒引当金	△5	△7
流動資産合計	14,247	14,442
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,866	1,808
機械及び装置(純額)	1,272	1,159
その他(純額)	1,107	1,156
有形固定資産合計	4,246	4,124
無形固定資産	44	40
投資その他の資産	1,917	1,924
固定資産合計	6,208	6,089
資産合計	20,455	20,531
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,394	1,349
未払法人税等	331	210
賞与引当金	179	187
役員賞与引当金	17	10
その他	462	391
流動負債合計	2,383	2,148
固定負債		
退職給付引当金	547	600
役員退職慰労引当金	60	29
固定負債合計	608	630
負債合計	2,992	2,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	18,213	18,501
自己株式	△3,456	△3,456
株主資本合計	17,078	17,366
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	384	385
評価・換算差額等合計	384	385
純資産合計	17,463	17,752
負債純資産合計	20,455	20,531

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	10,316	9,999
売上原価	9,155	8,919
売上総利益	1,161	1,079
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	149	150
賞与引当金繰入額	24	24
役員賞与引当金繰入額	8	10
退職給付費用	14	15
役員退職慰労引当金繰入額	4	2
貸倒引当金繰入額	0	1
その他	304	322
販売費及び一般管理費合計	504	528
営業利益	656	551
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	27	35
雑収入	18	27
営業外収益合計	56	73
営業外費用		
賃貸費用	3	3
たな卸資産廃棄損	—	18
雑支出	0	0
営業外費用合計	3	21
経常利益	709	603
特別損失		
固定資産除売却損	0	5
特別損失合計	0	5
税引前四半期純利益	708	597
法人税、住民税及び事業税	259	188
法人税等調整額	△22	△17
法人税等合計	236	170
四半期純利益	472	426

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	708	597
減価償却費	259	271
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10	8
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3	△7
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22	53
前払年金費用の増減額 (△は増加)	4	5
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△7	△30
有形固定資産除却損	0	5
受取利息及び受取配当金	△37	△46
売上債権の増減額 (△は増加)	△256	77
たな卸資産の増減額 (△は増加)	68	△22
仕入債務の増減額 (△は減少)	86	△45
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△61	△27
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△46	5
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1	△2
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	54	△28
小計	810	815
利息及び配当金の受取額	37	45
法人税等の支払額	△185	△312
営業活動によるキャッシュ・フロー	662	549
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△256	△236
定期預金の払戻による収入	196	196
有形固定資産の取得による支出	△126	△158
無形固定資産の取得による支出	△0	△3
貸付けによる支出	—	△2,000
その他の支出	△1	△0
その他の収入	4	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183	△2,195
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△138	△138
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138	△138
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	340	△1,785
現金及び現金同等物の期首残高	6,745	7,641
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,086	5,856

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,875	2,337	1,751	3,556	9,520	795	10,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,875	2,337	1,751	3,556	9,520	795	10,316
セグメント利益	232	90	154	164	641	15	656

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,915	2,234	1,709	3,377	9,237	762	9,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,915	2,234	1,709	3,377	9,237	762	9,999
セグメント利益	179	41	187	129	538	13	551

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。